



豊橋市立旭小学校5年生の福祉教室に行ってきました。ひとクラスでしたが、みんなたくさん質問をしてくれて終わった後もより子さんの車いすに興味津々。帰る時に今から車に乗ります、みたい人という、はいと元気よく返事をしてより子さんについていく子、先生にiPadを貸してもらって撮影をする子、外に出て眩しくてサングラスをかけた私にかっこいいねと声をかけてくれる子、お話はちゃんと聞いてくれたけれどどのびのびと育っている生徒たちに私たちも楽しい気持ちになりました。

(文責：宮副幸子)

車いすを楽しむ会 交流会 さくらピア 2025.1月26日

令和7年初の交流会に参加いたしました。場所はさくらピアの大会議室で参加者は8名でした。今回は他の集まりで私木内とご縁がありました安藤さん親子と小久保さんが初めて参加してくださいました。

簡単にご紹介しますと安藤さんも小久保さんもお子さんに障がいがあったり疑わしかったりされているそうでそんな子らのコミュニティの一つになればいいなと見学に来て下さいました。交流会では、初参加の方のお話を伺いながら会員の方から車いすを楽しむ会の活動や理念をお話しさせていただき、私もまだ知らなかったことや

改めて会について考えるよい機会となりました。お二人から参加後に感想を伺いました。

安藤さん《ウチの悩みを聞いて貰ったり、皆さんのお話を聞けたり、とても素敵な日曜日の朝を過ごせました。初対面でニヤニヤしたり、ウロウロするのは観察好きで人見知りの娘には、珍しい事なのですが私を否定しない人達だ！と信頼と安心したみたいです。遠足にも誘って貰い、凄く喜んでいました。ありがとうございます。》小久保さん《楽しいお時間をありがとうございました。新しい気付きが多く、とても勉強になりました。また参加させ



ていただければ嬉しく思います。》会員の皆様におかれましてはもうご存知の事と思いますが、車いすを楽しむ会は車いすの人間だけではないので色々な方にご参加いただいて色々なお話が出来ればと思います。ご参加お待ちしております。

(文責：木内寛紳)

車いすを楽しむ会のInstagramを開設しました。

楽しむ会のイベント、交流会などの様子を投稿していきます。フォローをお願いします！アカウントは[KURUMAIKU.ENJOY2024] [車いすを楽しむ会]で検索してください。



KURUMAIKU.ENJOY2024



事務局だより

入会のご案内 年会費 1,500円

「車いすを楽しむ会」では、随時会員を募集しています。会の趣旨にご賛同いただける方であれば、障がいの有無、程度等関係なく、どなたでも歓迎致します。お申し込み、お問い合わせは下記の連絡先へお願い致します。

各種連絡先

- 〒440-0826 愛知県豊橋市大井町134-1(有) ステップワールド 宮副
- TEL.FAX (0532) 39-3004 ステップワールド宮副まで ● E-mail・info@coolmice55.net

掲載中の文章・写真の無断転載を一切禁じます。規約上事務局は会長宅となっていますが、事務処理の都合上連絡先をステップワールドとさせて頂いております。表記について／「車いすを楽しむ会」では、皆様にお配りする印刷物では「車いす」と「障がい(者)」でひらがな表記を統一しております。ご理解ご了承いただきますようお願い致します。



希車倶楽部

KISHA-CLUB Vol.77

車いすを楽しむ会 会報紙 第77号
発行:2025.2/3
発行責任者:牧野泰明

会長あいさつ 車いすを楽しむ会 会長 牧野泰明

皆さん、こんにちは
2025年がスタートし2か月が過ぎようとしています。寒い気候が続く日々ですが体調にお変わりはないでしょうか？季節外れの暖かい日差しを受けると、春の訪れが待ち遠しくなります。

今年は年始休暇を利用して「道の駅くんま水車の里」までドライブしてきました。浜松市の山の中にある道の駅という事もあり、山道の曲がりくねった道をカーナビを疑いながらの、片道1

時間30分のドライブでした。
山から下りてくる綺麗な川や水車もあり、地元のお母さん達が作ってくれた蕎麦が美味しかったです。

さて、昨年も色々な行事がありました。会員同士の交流はもちろん、学校への訪問や地域の方や学生などと交流とがありました。
昨年伺った牟呂小学校より、今年1月に開催された「感謝する会」にご招待頂きました。

福祉交流をした後にそれぞれが考えてくれた思いや気づき、活動の話などを受けたと参加した会員からの報告を受け、小学生の優しい思いに私の心も温かく、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今年も行事を企画運営して参りますので、ご参加ご協力をよろしくお願いいたします。
今年最初の行事は遠足です。ご参加お待ちしております。では、また。



ご参加お待ちしております！

車いすを楽しむ会イベントのお知らせ 楽しい遠足！

今年の春の遠足は、リニューアルオープンした[二川本陣]です。
歴史的背景や文化についての解説をお聞きしながら館内見学をします。
車いすでの館内見学の許可も頂きました！ランチは蔵カフェ「こまや」を予定しています。

日時	2025年4月6日(日) 集合 午前9時
場所	豊橋市二川本陣資料館 豊橋市二川町字中町65番地
会費	資料館入場料／400円 障害者手帳提示で本人と付き添い者1人無料
★詳しくは後日お送りする葉書をご覧ください★	

名古屋で一人暮らしをしている先輩に会いに行きました 2025.1月26日

1月末に昨年の秋ごろから名古屋で一人暮らしをしている高校の先輩に会いに行きました。
先輩は末梢神経障害のため電動車いすユーザーです。学生時代から色々なところに一緒に出掛けることが多くお世話になった先輩です。その先輩が名古屋で一人暮らしを始めたとき、どんな感じの生活しているのか気になり先輩に連絡をしました。その時に車いすを楽しむ会の取材をさせてほしいとお願いしたところ、快く承諾していただき色々な話を聞くことができました。
現在の生活は福祉ホームというアパートみたいな所に住みヘルパーさんの介助を受けながら生活しているそうです。デイセンターというところで職員さんとやりたい事を相談しながら決めて

いると教えていただきました。ずっと前から一人暮らしをしたいと思っていて、2年前から明確になり、実際に一人暮らしを始め、最近では同じアパートに住んでいる方たちと鍋パーティーをするのが楽しいと言っていました。最後に、これからやってみたい事を聞いたら子どもが好きだから子どもに関わる仕事をやってみたいと言っていて、笑顔で楽しそうに話す姿は学生時代よりも生き生きとして取材をしている私まで元気をもらいました。今回の取材は、ヘルパーさんも一緒でしたが19歳の大学生の方でした。学生時代の先輩は食事するのも大変そうな時もあってひとり暮らし大丈夫なのかなって思っていたけれどヘルパーさんとのコミュニケーションもしっかりされており、お互いに

信頼し合っている様子が伝わってきました。先輩に久しぶりにお会いして、私が思ったことは電動車いすでの一人暮らしは大変な事も多いと思いますが、それ以上に前向きに楽しんでいる先輩は学生時代よりも輝いていました。輝いている先輩を見て、私も前向きに色々なことに挑戦したいなと改めて思うことができ、すごく有意義な時間を過ごすことができて良かったです。

(文責：榎澤真穂)



2024楽しい忘年会 ネオこすたりかミュージアム 2024.11月30日

今年も豊橋市のネオこすたりかミュージアムで車いすを楽しむ会の忘年会がありました。今回の忘年会のドレスコードは「クリスマス」。参加者の表現するテーマから考える装いも楽しみのひとつです。年齢も職業もバラバラ、だからこそ話題は豊富です。どのテーブルも色んな話題で盛り上がりました。



「車いすの事を教えてくれてありがとうございます。」 ～牟呂小学校「感謝する会」のお招きを受けて 豊橋市牟呂小学校 2025.1月28日

去る1月28日、鈴木より子前会長と宮副幸子副会長が、牟呂小学校「感謝する会」に招待されました。この「感謝する会」は、牟呂小学校が毎年この時期に、学校生活でお世話になった牟呂校区地域の大人の方々をお招きして全校児童でお礼の気持ちを伝える会です。地域ボランティアコーディネーター(学校菜園での野菜作り指導・お手伝い)・保護司会(1年生のお世話)・図書館ボランティア(本の読み聞かせ・図書館の管理)など、例年お世話になっている方々の中に入って、より子さん・宮副さんも全校児童の前に来賓として並びました。どんな経緯があったのでしょうか？

昨年の9月6日、牟呂小学校でお2人を講師とした福祉教室が牟呂小学校5年生の授業として開かれました。(詳しくは、希車倶楽部のバックナン

バー76号『牟呂小学校福祉教室 牟呂小学校2024.9月6日』を、ご覧ください。)車いす障がい者の生活にどんな制約があるか、特に、みんなで知恵を出して時には人に相談しながらやりたいことができた時の喜びについて、車いす障がい者のトイレや車の乗車についてのDVDを交えながら5年生の児童の前でより子さん・宮副さんがアツク語りかけました。

今回の「感謝する会」でのお招きは、その福祉教室で車いすの生活と生き方について話してくれたことへのお礼でした。朝9時に控室から体育館へ移動すると全校児童が体育館いっぱい集まって大きな拍手で他のご来賓の方々と共に迎えしてくれました。各来賓が一人一人紹介された後、児童代表の指揮と先生のピアノ伴奏に沿って、お礼の歌として全校

児童で『僕の太陽』という曲を歌ってくれました。

次に、児童2人一組で各来賓にプレゼントとしてとてもきれいな花畑の鉢植えと、お世話になった児童たちが書いたお礼の手紙を綴じたファイルが送られ、より子さん・宮副さんがとても喜んで受け取りました。より子さんにプレゼントを渡した児童が、『車いすの事を教えてくれてありがとうございます。』と言いながら渡していたのが、とても印象に残りました。

司会進行の児童から閉会の辞が述べられ、再び全校児童の拍手に送られながら体育館を出て控室に戻り、私たちはしばらく待機していました。9月の福祉教室をきっかけにして、5年生のあるクラスの児童たちが『車いす障がいの人たちのために、自分たちでできる事に取り組もう』と考え、実際



感謝する会のようす



児童のみなさんの取り組み



不要な木材を使ったスロープ

に様々な取り組みが行われました。その取り組みを私たちにぜひ見てほしいというクラスの先生からのお願いがあったので、楽しみに待っていました。しばらくすると先生と共に約30人の児童が控室に入ってきて、私たちの前に座りました。そして、順番に自分たちの取り組みをちょっと照れながら(?)紹介してくれました。

- 車いす障がい者のための「思いやり駐車場」プロジェクト
- スロープづくりの提案書
- トイレの入り口にカギを付ける提案書
- 不要な木材を使った木製スロープづくり
- 「車いす用トイレを譲って下さい」の呼びかけポスター
- 「車いすの人が思っている事」「車いすの人を笑顔にする」などの各種ポスターなどなど…

1人で発表した児童もいれば、7～8

人で発表した児童もありました。いろんな提案・ポスター・作ったものがありましたが、共通しているのは「車いす障がい者の人のために何かできないか、自分で考えよう、人と相談し時には助けも借りながら自分で実際に取り組もう。」という点でした。

特に、不要な木材で作った木製スロープは実際に完成し、体育館への渡り廊下から校庭へ降りる段差にあてがわれて実際に使われていました。実際により子さんが使ってみると、校庭から昇る時には少し段差が残っていて少しガクンとなりましたが、降りる時はとてもスムーズでした。実際に作った児童に宮副さんから「グッジョブ!」の一声と共にありがとうの言葉が伝えられました。そして、『車いすを楽しむ会には、工作がとても上手な会員さんがいるから、さらに改良して仕上

げる助言をもらえるように頼んであげ!』との約束が交わされました。こうして、人と人とが関わりながら感謝の気持ちでつながっていく瞬間に立ち会って、心がとても温くなりました。

牟呂小学校を後にする時間が来ました。より子さんが車いすへ自分一人で移乗するのを、児童たちは食い入るように見ていました。より子さんが自分のクルマの横に車いすを付け、扉を開け足を抱えながらクルマに乗り移り、車いすをたたんで鮮やかに車の中へ収めた瞬間、思わず児童たちから『カッコいい〜!』と声が上がりました!障がい者・健常者とも障がいのあな無しを置いて一緒に考えて助け合って行動し、心のバリアフリーを実現していく…車いすを楽しむ会の目指すところが、正に目の前で実現した瞬間でした。

(文責:青木良浩/撮影:木内寛紳)